



3月の練習会（3/5撮影）

■4月の予定表をお送りします。

新年度を迎えます。みんな一つ上の学年や、次の学校に進級、進学することとなります。昨年度よりは心も身体も成長するわけですから、当然いろんなことのレベルも上がるはずです。同時にまわりからの要求レベルも上がります。それは、家族や先生やみなさんを取りまく人々の「期待」でもあります。それぞれの目標に向かって、「期待にこたえたい！」という強い気持ちを込めて、はじめの一歩をスタートしましょう。（テニスに限らず、勉強やすべてのこと）。

■今後の予定と中体連の変更

夏まで公式戦がありません。次は7月後半のサマージュニアになります。また、中学生は海の日の頃に実施する中学総体（個人・団体）となります。今年から中体連のルールが変更になるかも知れません。中学校ではなくクラブチームからも参加できるようになると思います。（現在進行している中学校部活の見直しの一環です。）テニス競技の場合はジュニアの大会は以前からそうなので、あまりびっくりはしませんが、中体連は関西ジュニアの選手が出れなかったり、ダブルスは同じ中学校でなければ出れなかったりして、特に共栄学園中学にとっては「おいしい大会」だったので、今後近畿大会に出るのが難しくなりそうで、少し困っています。

■季節の変わり目・体調管理をしっかり



コロナやインフルエンザ対策として、体の免疫機能が下がらないように、十分な睡眠と、しっかりとした食事を心がけましょう！

■WBCに学ぶこと

テニスの豆知識 79

それにしても野球の面白さを見事に見せてくれた、日本代表による最高のパフォーマンスでした。久しぶりに「野球ってすごいな、面白いな。」と感じた方も多いのではないでしょうか。あのレベルの人たちが、本気で取り組むと、そういうことになるのですね。何より良かったのは、みんなが楽しそうだったことです。（村神様はしんどそうでしたけど。）

球界を代表する選手達が、大谷のバッティングを、子供のように興奮して見ていたことや、ダルビッシュが若手とピッチング談義しているところなど、みんな少年野球の頃にもどっているような感じに見えました。チームの優勝もすごいことなのですが、「あのような日本代表チームなら、今の子供たちもあこがれるだろう。」と思いました。

甲子園で優勝することが絶対的な価値になってしまった高校野球にこそ、あのようなムードというか雰囲気が欲しいところです。テニスもそうなのですが、始めたころの無邪気に楽しむ輝くような笑顔は、いつの間にか勝利至上主義の中で、苦しそうな表情に変わっていくことが多いようです。今回WBCで、減少傾向の少年野球が、少しでも盛り上がることを願うと同時に、「競技力の向上に本気で取り組むこと。」と「競技を思い切り楽しむこと。」の両立を目指すような、ジュニア育成が広がることを願ってやみません。ともあれ、競技者の理想像はイチローからショウヘイに変わったことは、間違いないと思います。

■今後の試合やイベント

・全小予選 4/1～ ～舞鶴オープン 4/2～です。

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ（京都共栄学園内）

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoei.ed.jp

